

## KOTENの歌

古典でこてんぱんにやられてる中学生諸君

ここでしっかりいにしえびとの心に触れて

きっと君も万葉の心、無常の心、芭蕉の心、がつかめるよ

「今は昔」ではじまる竹取、「いづれ」はわかる平安のプレイボーイ、光源氏

三大随筆、枕に方丈、つれづれなるままに

三大俳人、芭蕉に蕪村に、小林一茶は雀の心を知ってるよ

をかしの「枕」に、あはれの「源氏」

今と昔は違うよ、けふ、てふ、やうやう、ござさふらふ

となむいひける、係り結びに、たらちねの枕詞、や・かな・けりは切れ字

古典でこてんぱん、古典がこてんぱん。

うつくし、かなしき、やむごとなき人、マダコンタルバー

文月、葉月に長月、神無月。1月遅れのおつきさん。

万葉・古今に・新古今。和歌の心は日本の心

千年昔の恋心。夢と知りせば、さめざらましを。

# KOTENの歌 2003

作詞作曲 尾西真蛇子

G Em G Em  
「今は昔」ではじまる竹取 「いづれ」はわかる平安のプレイボーイ源氏  
(平安に生まれた日本最初のかな文学) (平安の長編恋愛小説・紫式部著)

C Dm7  
随筆なら枕(草子)に、徒然(草)なるまま 方丈(記)  
(三大随筆:清少納言〜平安、兼好法師〜鎌倉後期、鴨長明〜鎌倉中期)

G Em G Em  
万葉・古今に新古今 和歌の心 芭蕉に蕪村に一茶は 俳句の心  
(三大和歌集:特色では順に「ますらを」「たわやめ」「幽玄有心」) (江戸の三大俳人)

C Dm7 G C G G7  
千年はるか昔の恋心 夢と知りせばさめざらましを  
(夢と知っていたならば覚めなかったのに:小野小町より)

C G  
うつくし かなしき をかし やんごとなきかな  
(順に意味は、かわいらしい、いとおいしい、風情・趣深い、尊い)

C G F Dm7/8  
今と昔はすべてがちがってるけど 心はつながる

G Em G Em  
をかしの文学「枕」に あはれの「源氏」 文月7・葉月8・長月9・神無月10  
(をかしはさわやかな感動、あはれはしみじみした感動) (月の異名)

C Dm7 G C G G7  
歴史的仮名遣い 今に直して けふ てふ ゐ ゑ やうやう  
(きょう ちょう い え ようよう)

C G  
うつくし かなしき をかし やんごとなきかな

C G F Dm7  
今と昔はすべてがちがってるけど 心はつながる

G Em G Em  
今も昔も流れる 無常は平家 係り結びに 枕詞たらちねの  
(無常は、世の中は永遠ではなくはかないということ) (例けり:ぞ・なむ・や・か→ける こそ→けれ) (枕詞は和歌にある5音の修飾語)

C Dm7 G C G  
や かな けり なり たり 切れ字は感動をかし 蛙飛び込む水の音  
(切れ字は俳句で使う感動を示す助詞) (古池や 蛙飛び込む 水の音:松尾芭蕉)

チャポン・・・ 紺碧(こんぺき) !